

令和5年度 岡山県立岡山南支援学校 学校経営目標達成状況 (R6.2.8)

(A:目標を上回った B:目標どおり C:目標を下回った)

学校経営目標	具体的計画	今年度の達成基準	自己評価		
			達成状況	評価	総合評価
1 自立と社会参加を目指した一貫性・継続性のある教育活動の推進	①キャリア教育全体計画の見直しを行う。 ②小学部技能検定について、教職員がその内容の共通理解を図り、実施する ③カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上を図る	①キャリア教育全体計画の見直しを行い指導目標の共通理解を図る ②小学部技能検定の内容を理解し、複数学年で実施する ③学習内容の見直しや関連した内容の学習を横断的に実施する	①全体計画の見直しを図り、進路指導に活用することができた ②限られた学年だけとなったが児童の実態に応じて実施することができた ③道徳教育に関する見直しでは具体的な指導内容と学校行事や他の教科領域との関係性に重点を置くことで適切な目標設定ができるようになった	B B A	B
2 子ども主体の学び・活動を豊かにする教職員の授業力・専門性の向上	①OJTや外部講師による研修を取り入れ、チームで学び合いながら授業づくりを進めていく ②教職員のニーズを踏まえ、教職員の専門性向上のための研修を実施する ③ICTを活用した授業実践に取り組み、教員の授業力・専門性を高める	①外部講師による研修支援を受けながら、年2回の公開授業を実施する ②学校の課題に応じた研修内容となるよう講師等、調整・実施する ③ICT支援員を有効に活用し、授業づくりや授業実践を行う	①総合教育センター指導主事による研修支援を得ながら授業づくりを行うことができた ②地域の学校からのニーズに応じた公開講座を実施することができた ③ICT支援員が授業に参画することで子どもたちが興味関心を示しながら授業を実践することができた	A B A	A
3 安全・安心な学校生活を送るための教育環境の整備	①相手を尊重したコミュニケーションができる人間関係作り ②危機管理体制の確立と防災教育の充実 ③情報モラル教育の取組を推進する ④支援が必要な家庭に対して計画的にケース会を設定し、関係機関と情報を共有し、子どもの指導、支援に当たる	①人権をテーマとした学習や活動を子どもの実態に合わせて実施、感染症差別をテーマにした教職員研修の実施 ②避難訓練の事前事後学習を丁寧に行う、外部講師による教職員への防災研修の実施 ③情報モラルを身に付ける学習を行い、望ましい態度を育成する ④外部機関と情報を共有し、児童生徒・保護者への支援を行う	①子どもの発達段階に応じて実施できた、教職員研修を授業実践に活用できた ②地震と津波を想定した垂直避難の避難訓練を実施、防災士による研修を行い防災意識の向上を図ることができた ③SNSを通じたトラブルは減少している ④専門家から助言を受けながら、関係機関と連携し、支援を継続している	A A B B	B
4 地域とつながる開かれた学校づくりと特別支援教育のセンター的機能の充実	①地域の人とのつながりを意識しながら、学校・家庭・地域が協働するコミュニティスクールの実現 ②地域資源を活用した教育活動を実施する ③交流及び共同学習を通して、居住地や学区での関わりの幅を広げる	①協議会での提案を実現可能な形にして実施する ②学校間交流、社会人講師、吹奏楽部コンサート等、地域資源を有効に活用した取組の充実 ③交流希望者の居住地校交流の実施	①防災に関して、地域の識者からの助言を受け、学校の防災活動に活かすことができた ②染織、理科学習、民俗楽器、グラウンドゴルフ、狂言鑑賞、地域での農業活動等に関する学びを深めた ③小学部では体調不良等で居住地校交流を実施できなかった児童がいた	A A B	A
5 生き生きとした職場づくり(心豊かな教育を創造・実践するための働き方改革の推進)	①業務内容の削減に向けて、教職員に意見を求め、出た意見を整理し、実践につなげる ②様々な問題に対して協力して解決にあたることできるように、校務の平準化を図るとともに、困り感を共有し、支え合って問題の解決に取り組む ③ワークライフバランスを意識した働き方	①意見を係会で選別し、できそうなものから検討し実践する ②計画的に主任者会を行いチームとしての連帯感を高め、情報共有と協働による問題解決を図る ③教職員用の学校評価アンケートで該当項目の高評価が90%以上	①アンケートを実施し、実現可能なものから実行している ②各分掌での協働を意識した動きが見られるようになった。負担感や困り感を共有しつつ、その改善を目指している ③該当項目 91.4% (昨年 87.4%)	B B A	B